

Aer for Sky

# ACT FOR SKY symposium

2025.12.02 TUE 13:00 → 18:00



未来の空を支えるSAF。

日本では、持続可能な航空業界の新時代が今年幕を開けました。

業界を超えた49の団体・企業が集うACT FOR SKYでは、

今年もシンポジウムを開催します。

第2回目の開催となる今年は、多様な視点からこれからの可能性を探求。

革新の未来を描き、

航空の新時代を切り拓く熱い議論と共創がここから始まります。

あなたもその一翼を担いませんか。

## ハイブリッド開催(事前登録制)

会場：TIAT SKY HALL(ティアットスカイホール) 羽田空港第3旅客ターミナル直結

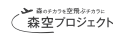
オンライン：YouTubeライブ配信 ※アーカイブ配信の予定はございません

### 協賛企業 ※五十音順

#### ゴールドスポンサー



#### シルバースポンサー



#### お申込み方法

二次元コードまたはURLから  
参加申込をお願いいたします。

<https://forms.gle/AJrSB5fGzx9Gt3GH9>



#### お問い合わせ

ACT FOR SKY シンポジウム 参加者事務局

E-mail : [info@afs-symposium2025.jp](mailto:info@afs-symposium2025.jp)

ACT FOR SKY 公式ホームページ <https://actforsky.jp/>

主催 ACT FOR SKY 運営事務局

# PROGRAM

|       |                                                                                                                                                                                                                                                                 |                                                                                             |
|-------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|
| 13:00 | 開 会                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                             |
|       | 第一部                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                             |
|       | 基調講演                                                                                                                                                                                                                                                            | 東京農工大学 学長 千葉 一裕様                                                                            |
|       | ラジオ公開収録                                                                                                                                                                                                                                                         | ニッポン放送 ※出演者調整中                                                                              |
|       | 第二部                                                                                                                                                                                                                                                             |                                                                                             |
|       | <b>パネルディスカッション 1</b><br><b>2030年以降のSAF事業開発に向けた展望と課題共有</b><br>2030年以降の事業化を目指して、次世代のSAF事業開発に取り組む各社が、将来の市場をどのように見据え、開発に取り組んでいるのか、また現在認識している課題は何かについて議論します。さらに、今後どのような道筋を描き、各ステークホルダーに対して何を期待し、どのような働きかけを行うのか、それぞれの立場から意見を交わします。                                    | コスモ石油株式会社<br>森空プロジェクト<br>株式会社レボインターナショナル<br>東洋エンジニアリング株式会社<br>国立研究開発法人<br>新エネルギー・産業技術総合開発機構 |
| 18:00 | <b>パネルディスカッション 2</b><br><b>2050年実質ゼロに向けた技術革新とSAFの2030年代の展望</b><br>2050年の実質排出量ゼロに向けた重要な柱として、技術革新とSAFが挙げられます。それらの社会実装が本格化する2030年代には、どのようなソリューションが市場に登場するのでしょうか。運用側と供給側のそれぞれの視点から、この先10年で描く未来を、機材とエネルギーの観点で課題や期待とともに議論します。                                         | 日本航空株式会社<br>出光興産株式会社<br>太陽石油株式会社<br>ボーイング ジャパン                                              |
|       | <b>パネルディスカッション 3</b><br><b>SAF利用促進に向けた環境価値の負担とScope3市場の役割～新たな仕組みづくりの課題と期待～</b><br>SAFの利用促進において重要な議論のポイントの一つが、コスト負担の在り方です。SAFの環境価値を社会全体でどのように負担していくかが問われています。その手法の一つとして、Scope3の市場取引による仕組みづくりがあります。今回はそれぞれの立場から、Scope3市場に限らない環境価値の負担のあり方やその仕組み、そして課題や期待について議論します。 | ENEOS株式会社<br>全日本空輸株式会社<br>エアバス・ジャパン株式会社<br>成田国際空港株式会社<br>株式会社みずほ銀行                          |
| 19:00 | 懇 親 会                                                                                                                                                                                                                                                           |                                                                                             |

## お申込み方法

二次元コードまたはURLから  
参加申込をお願いいたします。

<https://forms.gle/AJrSB5fGzx9Gt3GH9>



## お問い合わせ

ACT FOR SKY シンポジウム 参加者事務局

E-mail : [info@afs-symposium2025.jp](mailto:info@afs-symposium2025.jp)

ACT FOR SKY 公式ホームページ <https://actforsky.jp/>